

禅者としての鈴木大拙

仏教・禅宗

つかさぎ なおき
塚崎直樹著

▼46判・上製カバー・272頁・定価二、八六〇円

2025年7月刊行



僧侶ではなく、たんなる学者でもない。
鈴木大拙とは何者か。
大拙と同時代に生きた西田幾多郎、柳宗悦、秋月龍珉、岡村美穂子など七人の交流と言説を丹念に追い、禅者としての鈴木大拙の真の姿を明晰に浮かび上がらせた力作。

【目次】

- はじめに
- 西田幾多郎と鈴木大拙
- 昭和天皇と鈴木大拙
- 鶴見俊輔と鈴木大拙
- 柳宗悦と鈴木大拙
- 秋月龍珉と鈴木大拙
- 曾我量深と鈴木大拙
- 岡村美穂子と鈴木大拙
- あとがき

◆著者略歴

塚崎直樹(つかさぎ なおき)

一九四九年金沢市生まれ。一九七三年金沢大学卒業。一九八〇年京都博愛会病院勤務。一九八八年インド旅行を契機として、宗教的世界に関心を持つ。一九九一年より盛永宗興老師の元で座禅。盛永老師遷化の後、一九九五年より相国寺養源院の平塚景堂老師の指導を受ける。二〇〇七年より岡村美穂子氏と面識を得て、二〇二三年逝去まで交流を重ねる。
著書に共著、加藤清監修『癒しの森：心理療法と宗教』（創元社、一九九六年）がある。

注文書	
(書店印)	
様	冊
ご担当	
法藏館	
塚崎直樹著	
禅者としての鈴木大拙	
ISBN: 978-4-8318-6293-8 C1015	
定価二、八六〇円	
ご住所	お名前
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp